

2013 中野区区民意識・実態調査結果

< 概要版 >

調査の概要

調査対象	中野区に居住する満 20 歳以上の男女個人
標本数	2,000 人
標本抽出方法	層化二段無作為抽出法
調査期間	平成 26 年 1 月 17 日（金）～平成 26 年 2 月 17 日（月）
調査方法	郵送配布・郵送回収
回収状況	有効回収数 1,436 回収率 71.8%

目次

2p	1	定住意向
4p	2	まちの魅力
5p	3	中野駅周辺の利用頻度／不便・不満の有無
6p	4	中野駅周辺の不便・不満の内容
7p	5	生活環境の満足度
8p	6	生活の安全（防災）
9p	7	生活の安全（支えあい）
10p	8	男女共同参画
11p	9	区政情報の入手状況
13p	10	施策への要望
16p		回答者属性

概要版の見方

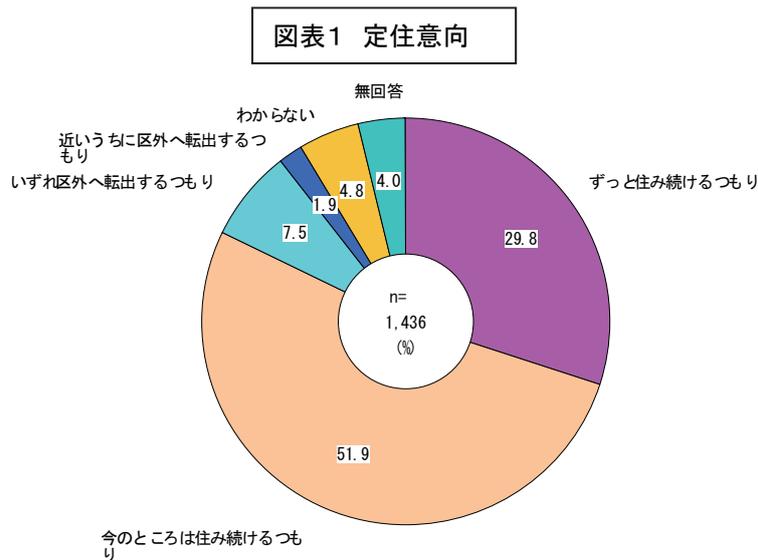
- ・ 図表中の「n」は、その設問の回答者数を表しています。
- ・ 回答割合（％）は、小数第 2 位を四捨五入し、小数第 1 位まで表示しています。そのため、各回答の数値の合計が 100％とならない場合があります。
- ・ 複数回答の設問の場合、その回答割合（％）の合計は 100％を超えることがあります。

2014 年（平成 26 年）3 月
中野区

1 定住意向

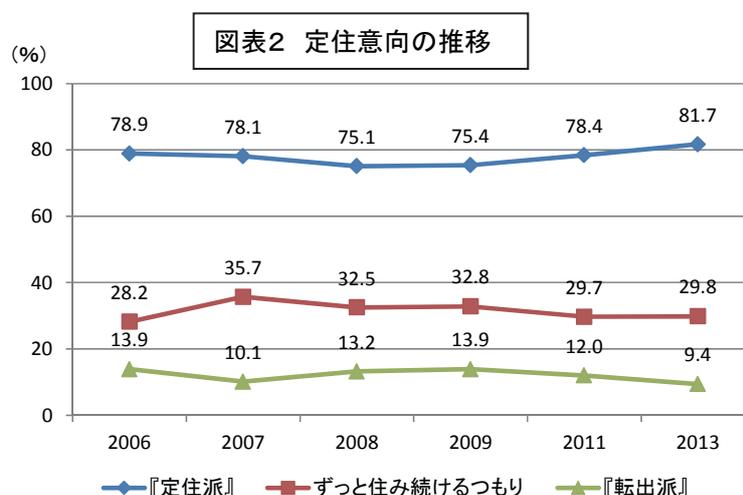
(1) 定住意向

定住意向を聞いたところ、「ずっと住み続けるつもり」(29.8%)、「今のところは住み続けるつもり」(51.9%)を合わせた『定住派』は8割以上となっている。一方、「いずれ区外へ転出するつもり」(7.5%)、「近いうちに区外へ転出するつもり」(1.9%)を合わせた『転出派』は約1割となっている。(図表1)



(2) 定住意向の推移

定住意向の過去の推移をみると、『定住派』は2006年以降減少傾向であったが、2009年から増加に転じ、今回は81.7%となっている。また、『転出派』は2009年から減少傾向が続いており、9.4%となっている。(図表2)



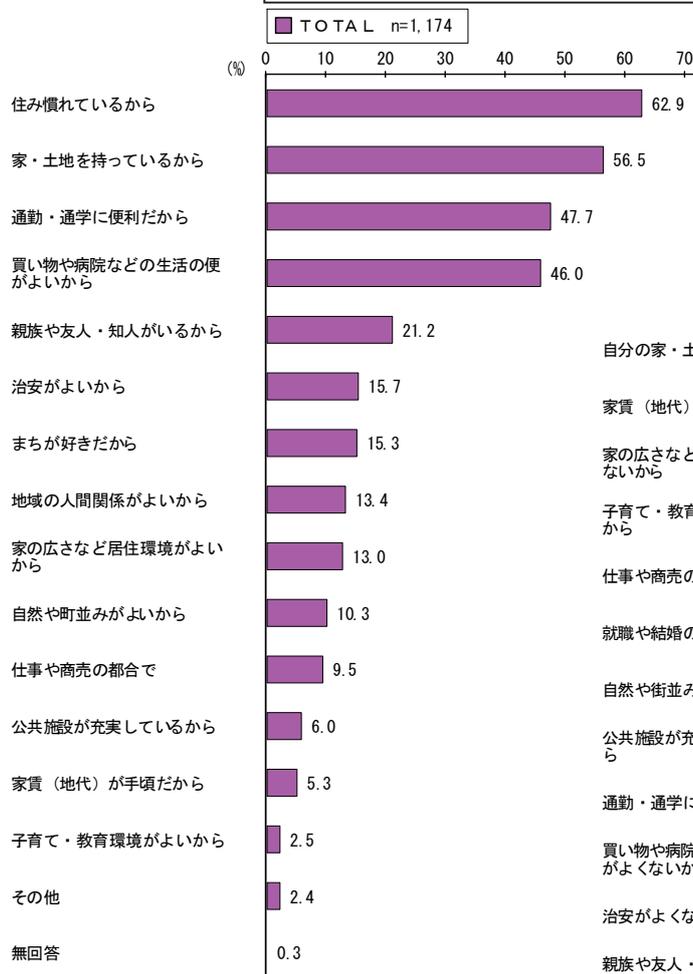
(3) 定住理由

定住を考えている人に定住理由(複数回答)を聞いたところ、「住み慣れているから」(62.9%)が最も高く、次いで「家・土地を持っているから」(56.5%)、「通勤・通学に便利だから」(47.7%)、「買い物や病院などの生活の便がよいから」(46.0%)となっている。(図表3)

(4) 転出理由

転出を考えている人に転出理由(複数回答)を聞いたところ、「自分の家・土地ではないから」(41.5%)が最も高く、次いで「家賃(地代)が高いから」(22.2%)、「家の広さなど居住環境がよくないから」(15.6%)となっている。(図表4)

図表3 定住理由(複数回答)



図表4 転出理由(複数回答)



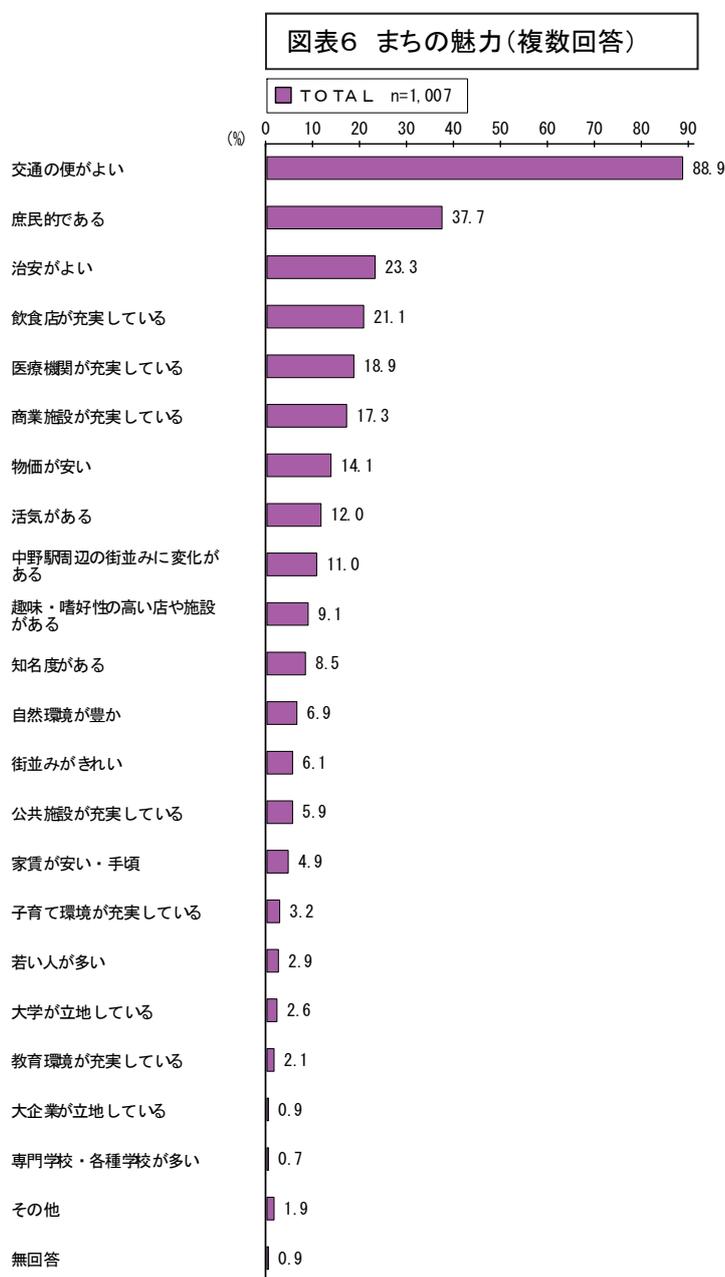
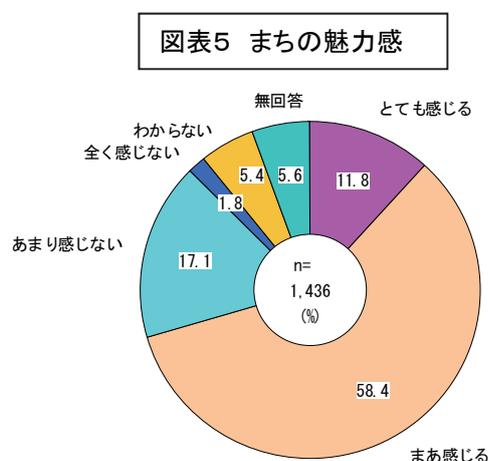
2 まちの魅力

(1) まちの魅力感

まちの魅力を感じたところ、「とても感じる」(11.8%)、「まあ感じる」(58.4%)を合わせた『感じる』は7割となっている。一方、「あまり感じない」(17.1%)、「全く感じない」(1.8%)を合わせた『感じない』は2割未満となっている。(図表5)

(1) まちの魅力

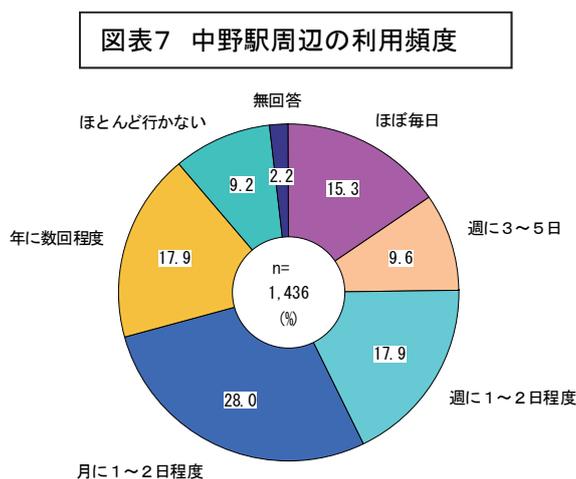
まちの魅力を感じる人にまちの魅力(複数回答)を感じたところ、「交通の便がよい」(88.9%)が最も高く、次いで「庶民的である」(37.7%)、「治安がよい」(23.3%)、「飲食店が充実している」(21.1%)となっている。(図表6)



3 中野駅周辺の利用頻度／不便・不満の有無

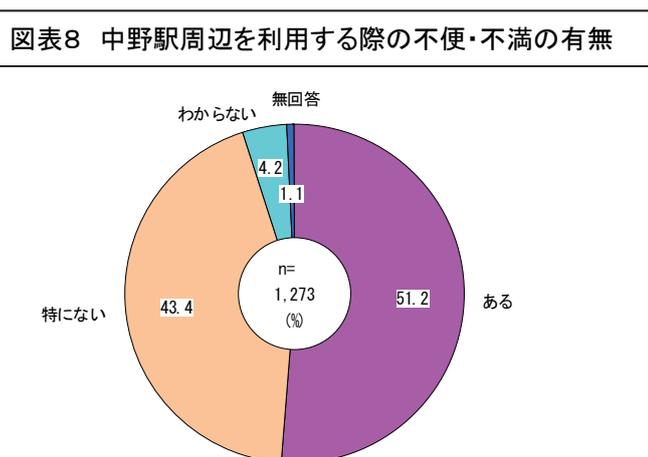
(1) 中野駅周辺の利用頻度

中野駅周辺へ行く頻度を聞いたところ、「月に1～2日程度」(28.0%)が最も高く、次いで「週に1～2日程度」、「年に数回程度」(同率17.9%)、「ほぼ毎日」(15.3%)となっている。「ほぼ毎日」、「週に3～5日」、「週に1～2日程度」を合わせた『週1回以上』行く人は4割である。(図表7)



(2) 中野駅周辺を利用する際の不便・不満の有無

中野駅周辺を利用する人に不便や不快など不満の有無を聞いたところ、「ある」(51.2%)、「ない」(43.4%)となっている。(図表8)



4 中野駅周辺の不便・不満の内容

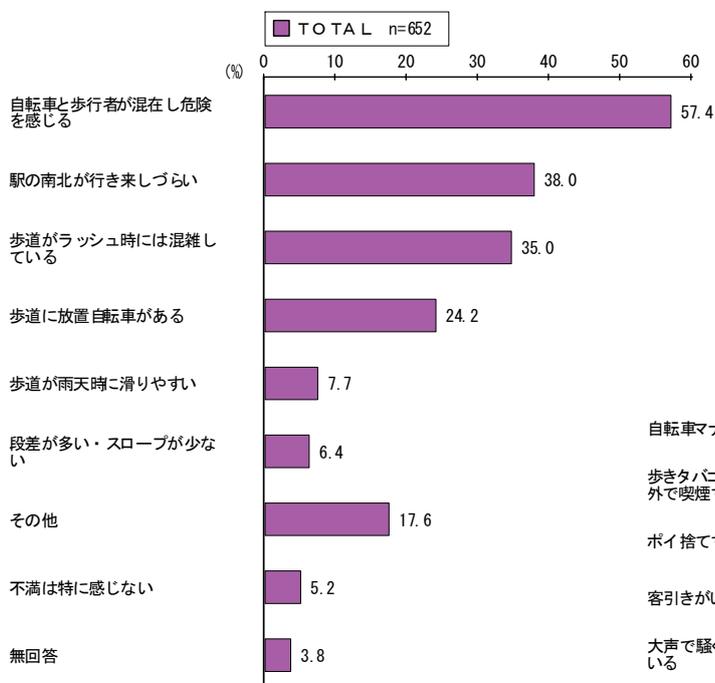
(1) 中野駅周辺を歩くときの不満

不満がある人に歩くときの不満（複数回答）を聞いたところ、「自転車と歩行者が混在し危険を感じる」（57.4%）が最も高く、次いで「駅の南北が行き来しづらい」（38.0%）、「歩道がラッシュ時に混雑している」（35.0%）となっている。（図表9）

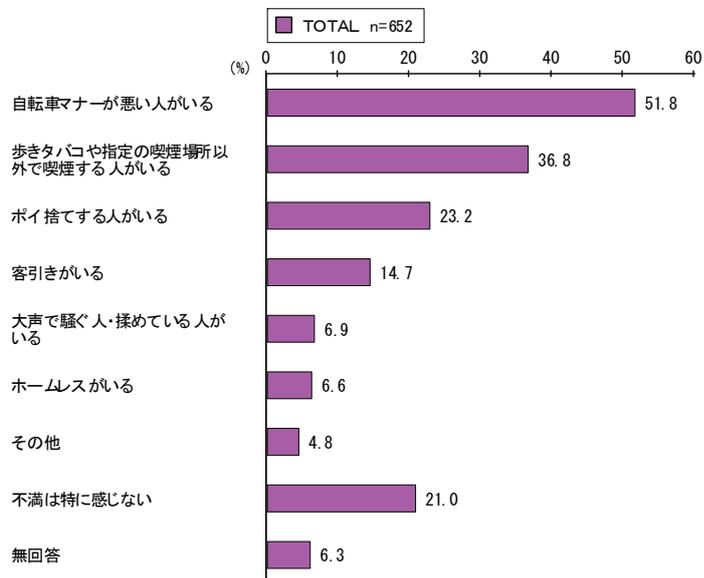
(2) 中野駅周辺のマナー・治安の不満

不満がある人にマナー・治安の不満（複数回答）を聞いたところ、「自転車マナーが悪い人がある」（51.8%）が最も高く、次いで「歩きタバコや指定の喫煙場所以外で喫煙する人がある」（36.8%）、「ポイ捨てする人がある」（23.2%）となっている。（図表10）

図表9 歩くときの不満の内容（複数回答）



図表10 マナー・治安の不満の内容（複数回答）

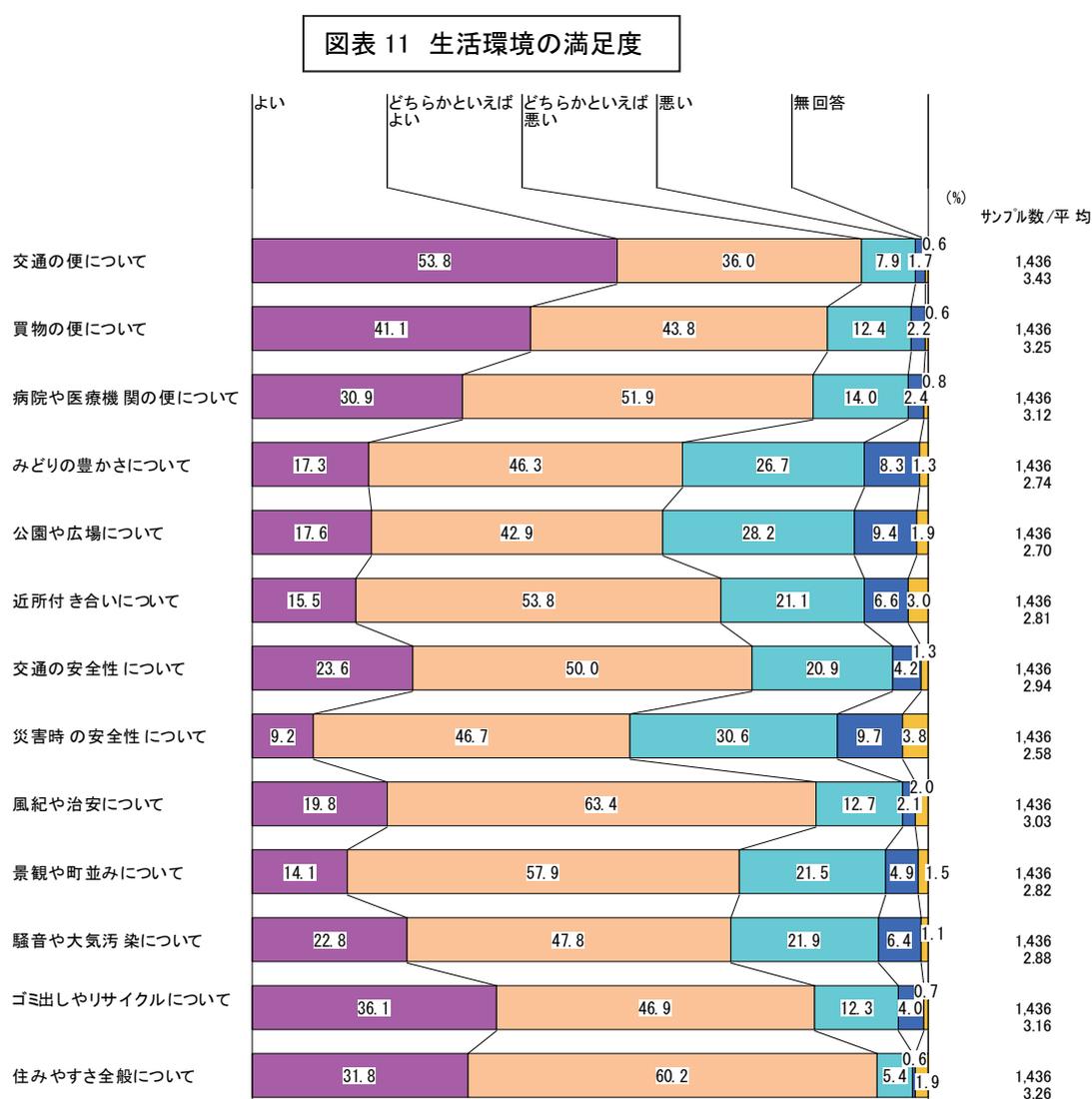


5 生活環境の満足度

(1) 生活環境の満足度

自宅周辺の生活環境に関する各項目を聞いたところ、「よい」、「どちらかといえばよい」を合わせた『よい評価』は「住みやすさ全般について」(92.0%)が最も高く、次いで「交通の便について」(89.8%)、「買物の便について」(84.9%)、「風紀や治安について」(83.2%)となっている。

一方、「悪い」、「どちらかといえば悪い」を合わせた『悪い評価』は「災害時の安全性について」(40.3%)が最も高く、次いで「公園や広場について」(37.6%)、「みどりの豊かさについて」(35.0%)となっている。(図表 11)

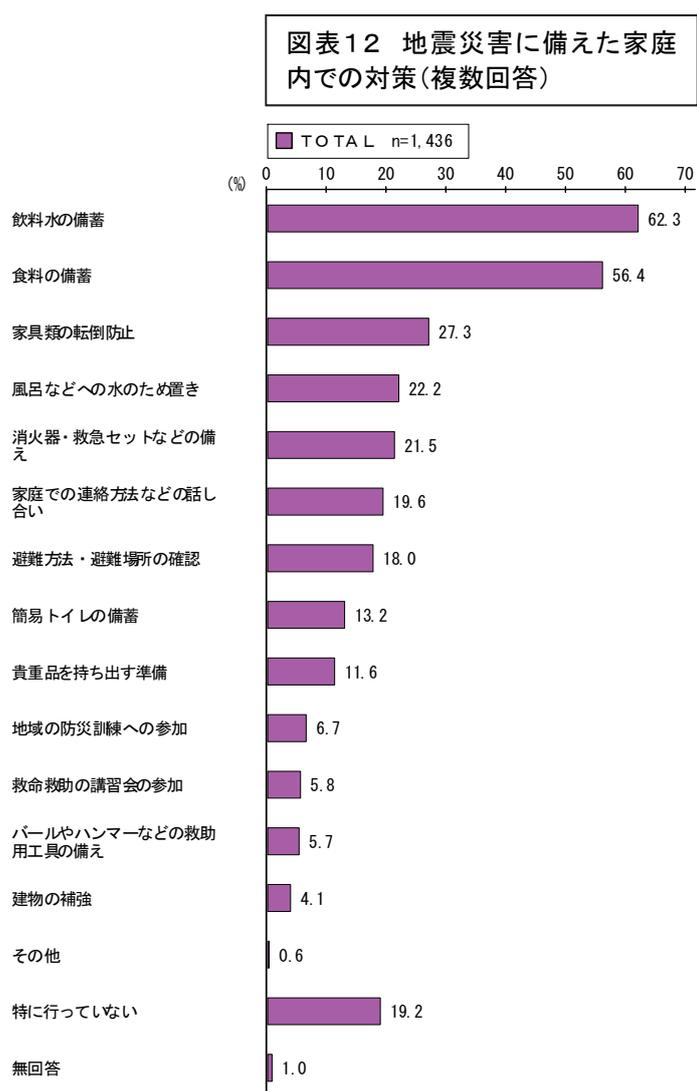


※平均は、「よい」(4点)、「どちらかといえばよい」(3点)、「どちらかといえば悪い」(2点)、「悪い」(1点)として、評価点を算出している。

6 生活の安全（防災）

（1）地震災害に備えた家庭内での対策

地震災害に備えた家庭内での対策（複数回答）を聞いたところ、「飲料水の備蓄」（62.3%）が最も高く、次いで「食料の備蓄」（56.4%）、「家具類の転倒防止」（27.3%）となっている。また、「家庭での連絡方法などの話し合い」（19.6%）、「避難方法・避難場所の確認」（18.0%）となっており、「特に行っていない」（19.2%）と、2割近くの人是对策を講じていない。（図表 12）



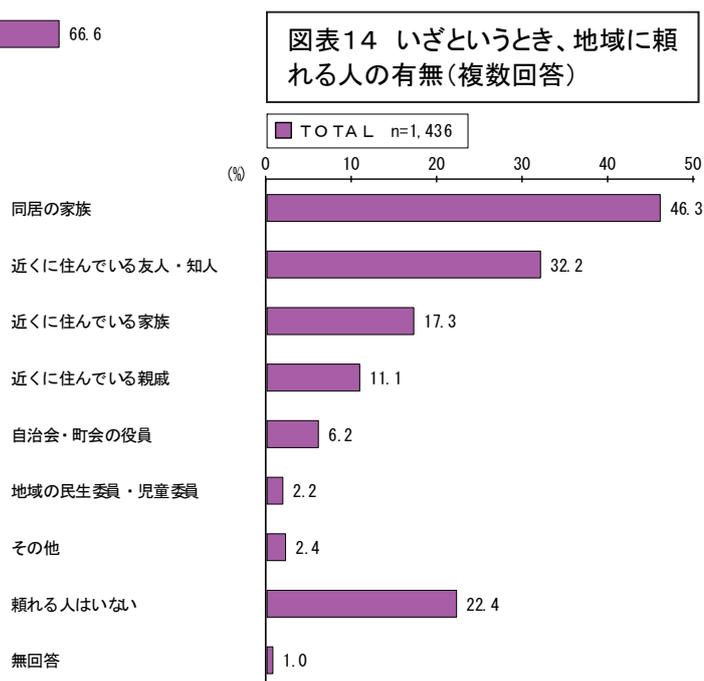
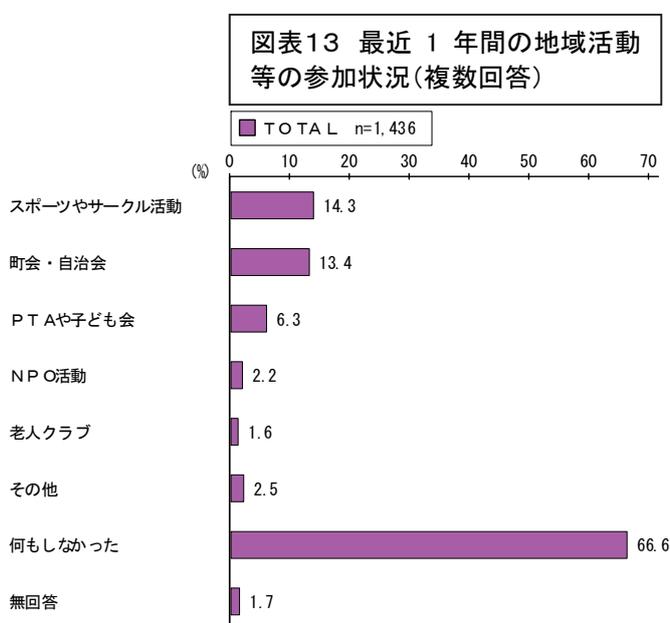
7 生活の安全（支えあい）

（1）地域活動の状況

最近1年間の地域活動等の参加状況（複数回答）を聞いたところ、「何もしなかった」（66.6%）となっており、何らかの活動をした人は31.7%、約3割である。具体的な活動では、「スポーツやサークル活動」（14.3%）、「町会・自治会」（13.4%）、「PTAや子ども会」（6.3%）となっている。（図表13）

（2）地域で頼れる人の有無

いざというとき、お住まいの地域で頼れる人（複数回答）を聞いたところ、「同居の家族」（46.3%）が最も高く、次いで「近くに住んでいる友人・知人」（32.2%）、「近くに住んでいる家族」（17.3%）となっている。一方、「頼れる人はいない」（22.4%）も2割を超えている。（図表14）

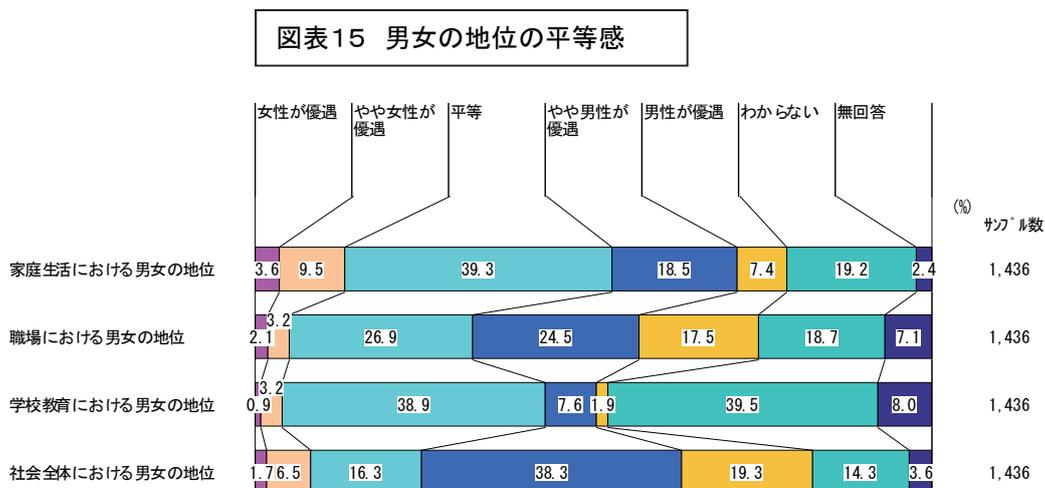


8 男女共同参画

(1) 男女の地位の平等感

4つの分野について、男女の地位が平等だと思うかを聞いたところ、「平等」が最も高かったのは、『家庭生活』（39.3%）であり、次いで『学校教育』（38.9%）、『職場』（26.9%）、『社会全体』（16.3%）となっている。

選択肢の中で、『学校教育』では「わからない」（39.5%）が高く、『社会全体』では「やや男性が優遇」（38.3%）が最も高くなっている。（図表 15）

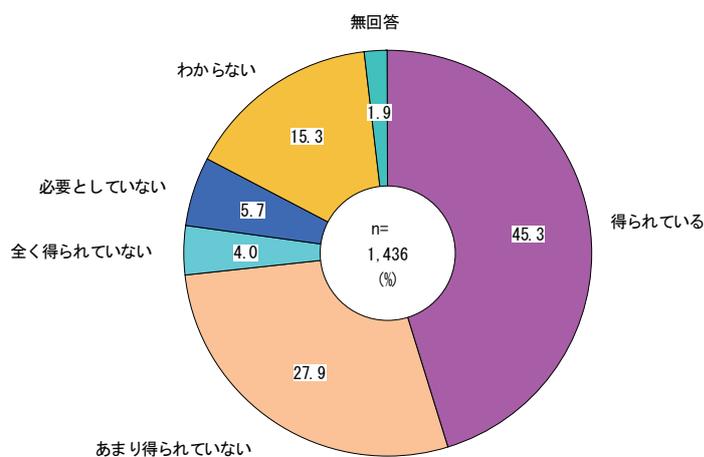


9 区政情報の入手状況

(1) 必要とする区政情報の入手状況

必要とする中野区政の情報を得られているか聞いたところ、「得られている」(45.3%)が最も高く、次いで「あまり得られていない」(27.9%)、「わからない」(15.3%)、「必要としていない」(5.7%)となっている。「あまり得られていない」「全く得られていない」を合わせた『得られていない』人は約3割である。(図表 16)

図表 16 区政情報の入手状況



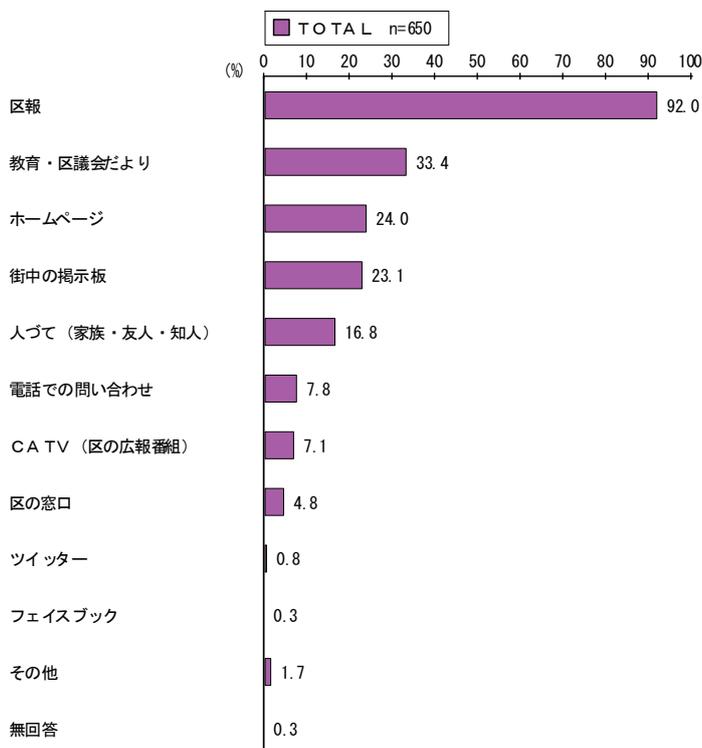
(2) 必要とする区政情報の入手先

情報を得られている人に区政情報の入手先（複数回答）を聞いたところ、「区報」（92.0%）が最も高く、次いで「教育・区議会だより」（33.4%）、「ホームページ」（24.0%）となっている。（図表 17）

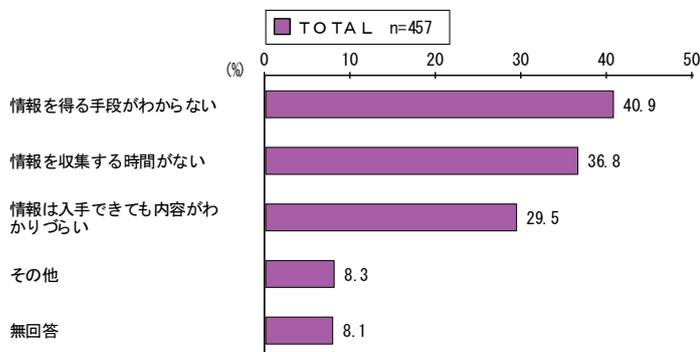
(3) 必要とする区政情報が得られない理由

情報を得られていない人にその理由（複数回答）を聞いたところ、「情報を得る手段がわからない」（40.9%）が最も高く、次いで「情報を収集する時間がない」（36.8%）、「情報は入手できて内容がわかりづらい」（29.5%）となっている。（図表 18）

図表17 必要とする区政情報の入手先(複数回答)



図表18 必要とする区政情報が得られない理由(複数回答)



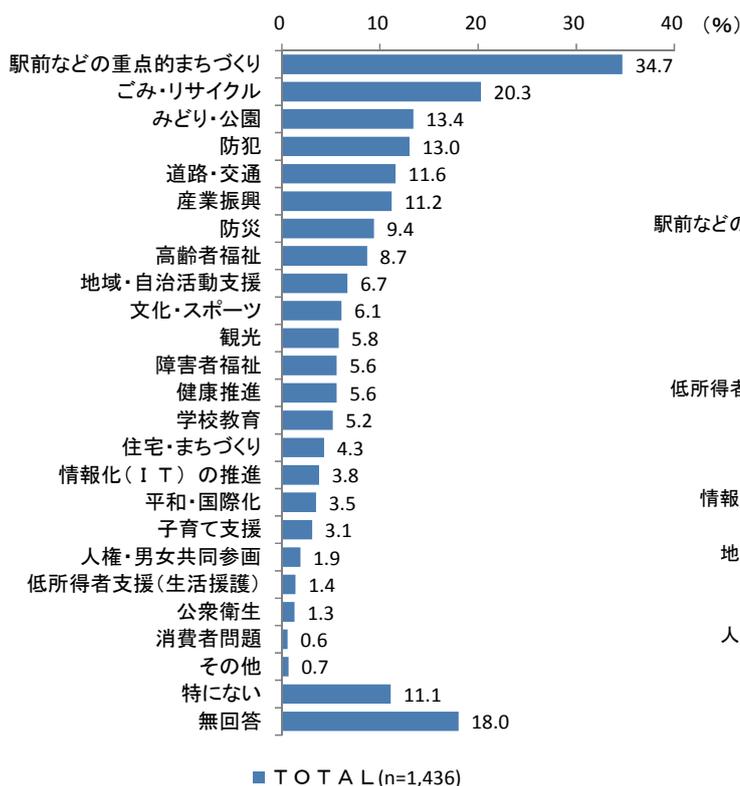
10 施策への要望

(1) 区の施策への評価と要望

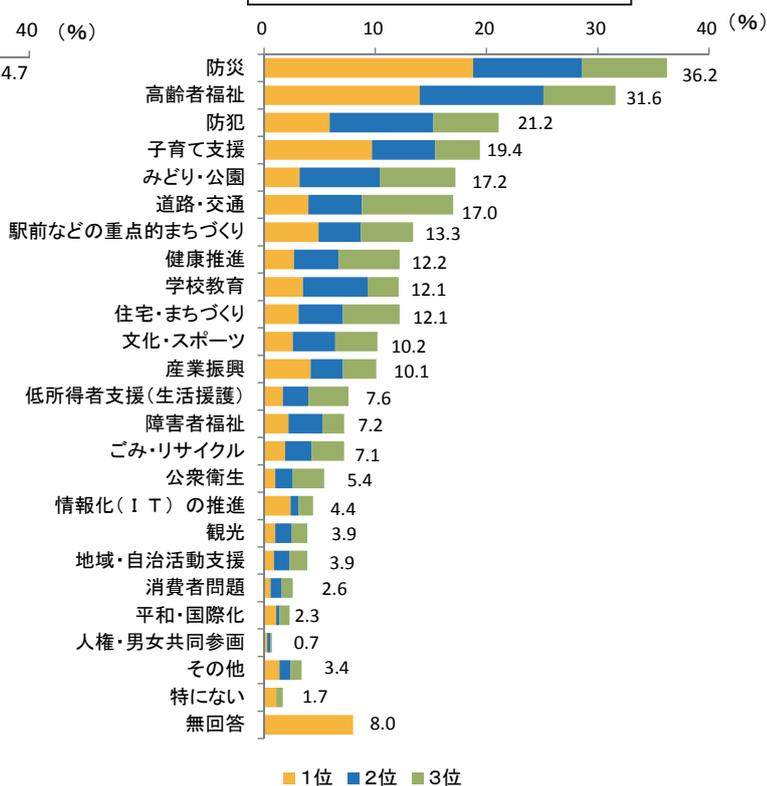
区が力を入れていると評価できる施策（複数回答）を聞いたところ、「駅前などの重点的まちづくり」(34.7%)が最も高く、次いで「ごみ・リサイクル」(20.3%)、「みどり・公園」(13.4%)、となっている。（図表 19）

また、今後特に力を入れてほしい施策を、1 位から 3 位まで順位を聞いたところ、合計では「防災」(36.2%) が最も高く、次いで「高齢者福祉」(31.6%)、「防犯」(21.2%)、となっている。（図表 20）

図表19 区の施策への評価(複数回答)



図表20 区の施策への要望



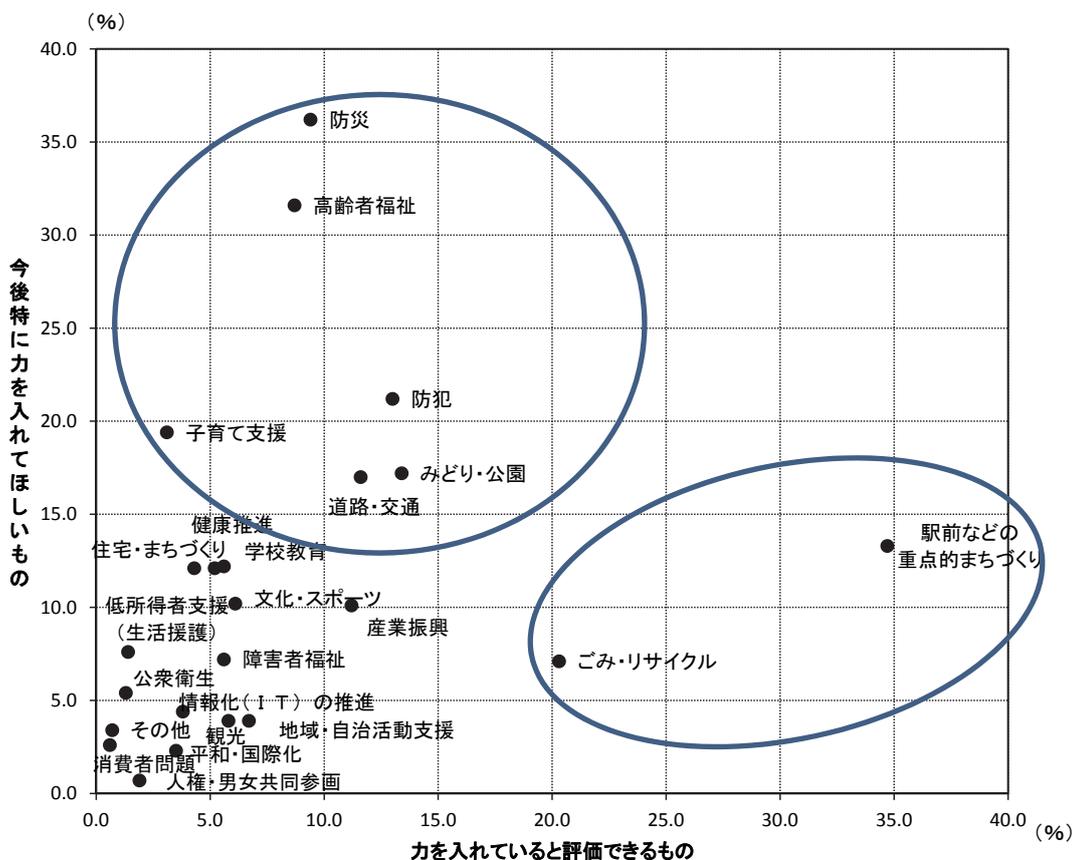
(2) 区の施策への評価と要望（散布図）

区の施策への評価と要望の関係をみるために、「力をいれていると評価できるもの」を横軸に、「今後特に力をいれてほしいもの」を縦軸にとり、22 項目とその他の位置をあらわしたのが以下の図である。

この図では、左下に位置するほど「評価」も「要望」も低い施策であることを、反対に図の右上に位置するほど「評価」も「要望」も高い施策であることを意味している。さらに、左上に位置するほど「評価」は低く、「要望」が高い施策であることを、反対に右下に位置するほど「評価」が高く、「要望」が低いことを意味している。

それぞれのカテゴリー別でみると、左上には「防災」、「高齢者福祉」、「防犯」、「子育て支援」、「道路・交通」、「みどり・公園」が位置づけられている。また、右下には、「駅前などの重点的まちづくり」、「ごみ・リサイクル」が位置づけられている。（図表 21）

図表21 区の施策への評価と要望 散布図



(3) 区の施策への要望（順位の変化）

過去5回および今回の施策要望の上位10位までの推移をみると、上位3施策は各年上位にあげられており、今回の結果では、前回に引き続き、1位は「防災」となっている。また、今回、初めて10位以内に「駅前などの重点的まちづくり」が入っている。（図表22）

図表22 区の施策への要望（順位の変化）

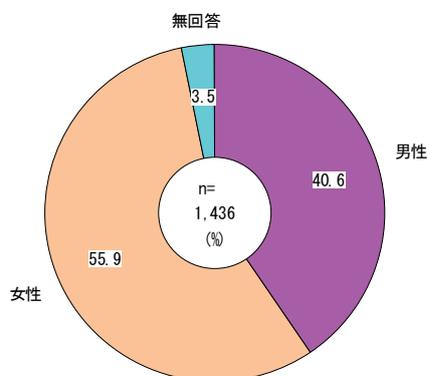
上段は施策、下段は回答割合（%）

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位	第7位	第8位	第9位	第10位
2006 n=1,012	防犯	防災	健康	高齢者福祉	平和	子育て支援	ごみ対策	みどり・環境	学校教育	低所得者支援
	39.5	33.4	28.0	27.1	19.0	16.9	13.6	12.8	12.1	9.7
2007 n=1,104	防犯	高齢者福祉	防災	みどり・環境	健康	子育て支援	ごみ対策	公園整備	道路整備	低所得者支援
	28.4	27.4	25.5	18.8	15.4	13.2	12.1	11.7	11.1	9.8
2008 n=887	高齢者福祉	防災	防犯	みどり・公園	道路・交通	環境改善	ごみ対策	子育て支援	健康	学校教育
	26.4	26.3	26.0	18.3	16.9	14.9	12.7	12.4	10.7	9.7
2009 n=1,019	防犯	高齢者福祉	みどり・公園	道路・交通	防災	子育て支援	健康	環境改善	子ども育成	ごみ対策
	28.0	25.7	21.4	18.0	17.3	14.8	12.6	10.4	9.7	9.6
2011 n=1,395	防災	防犯	高齢者福祉	みどり・公園	道路・交通	子育て支援	環境改善	健康	低所得者支援	住宅・まちづくり
	28.9	22.9	22.8	21.9	16.6	16.2	10.8	10.8	10.5	10.2
2013 n=1,436	防災	高齢者福祉	防犯	子育て支援	みどり・公園	道路・交通	駅前などの重点的まちづくり	健康推進	学校教育	住宅・まちづくり
	36.2	31.6	21.2	19.4	17.2	17.0	13.3	12.2	12.1	12.1

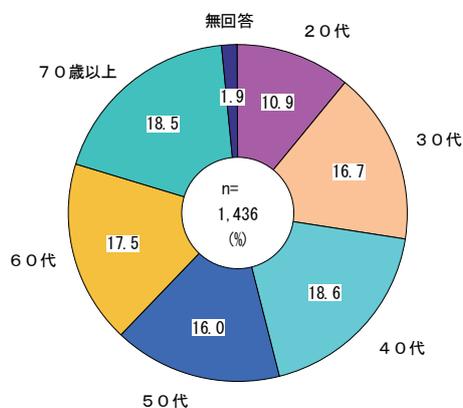
※同率（%）の場合は、同順位である。

回答者属性

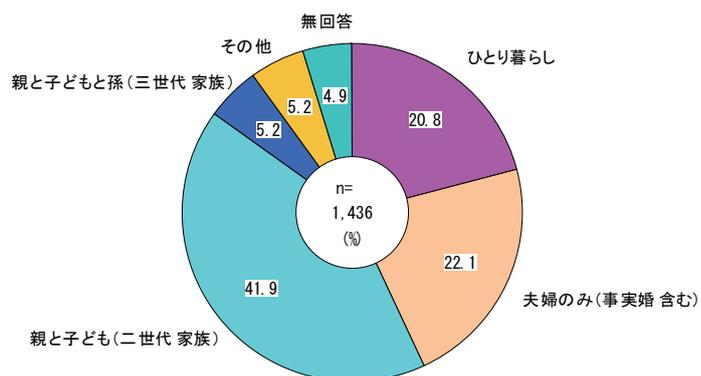
図表 性別



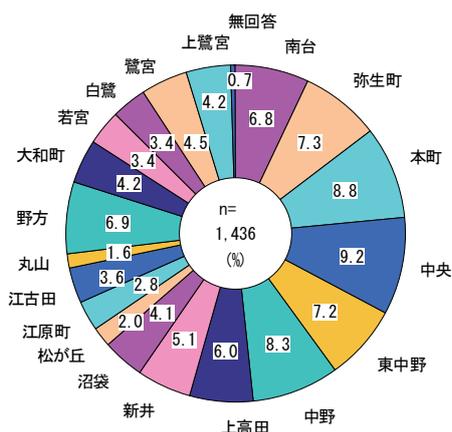
図表 年齢



図表 家族構成



図表 居住地区



2013 中野区区民意識・実態調査結果概要版

平成 26 年 3 月

文書番号 25 中政企第 1042 号

発行 中野区政策室企画分野政策情報担当

〒164-8501

東京都中野区中野4-8-1

電話 03-3228-8892

FAX 03-3228-5643